米軍、演習で共同作戦能力を強化（1）

U.S. forces enhance joint capabilities during exercise

February 2, 2021

By Staff Sgt. Gabrielle Spalding
374th Airlift Wing Public Affairs

（写真1）1月20日、キャンプ富士諸職種共同訓練センターで合同演習「リトラル・ストライク（沿海域攻撃作戦）」について話し合う、陸・海・空・海兵隊の隊員たち。

この2日間に渡る演習は、4軍の統合兵力に焦点を当てられたもので、第36空輸中隊による物資投下を含む、さまざまな模擬戦闘シナリオに基づいて演習が行われた。

1

（写真2）合同演習の作戦について話し合うジェイ・ランバート大尉（中央左）と第36空輸中隊C-130Jスーパーハーキュリーズパイロットのバーニー・コックス大尉（中央右）。

第36空輸中隊は、同演習で地上の海兵隊がフォローアップ作戦を行うための物資投下を行った。

2

（写真3）C-130Jスーパーハーキュリーズにコンテナを積み込む前の点検を行う第36空輸中隊ロードマスターのブライアン・ゲイツ技能軍曹。食糧、水、弾薬、医療品を積んでいることを想定したコンテナ・デリバリー・システムは、キャンプ富士諸職種共同訓練センター施設内のドロップ・ゾーンに投下された。

この2日間の演習で、陸・海・空・海兵隊は、戦闘環境下を想定した中でそれぞれの兵力の戦術的な知識を合体させ、強化する機会を得た。

3

新米軍、演習で共同作戦能力を強化（2）

U.S. forces enhance joint capabilities during exercise

February 2, 2021

By Staff Sgt. Gabrielle Spalding
374th Airlift Wing Public Affairs

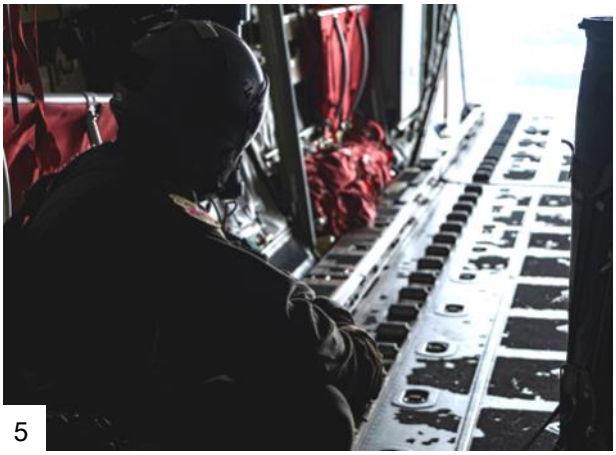
（写真4）1月22日、キャンプ富士諸職種共同訓練センター付近にて。第36空輸中隊のC-130Jスーパーハーキュリーズから投下される用準備が整えられたコンテナ・デリバリー・システム。

第36空輸中隊は、合同演習「リトラル・ストライク（沿海域攻撃作戦）」を支援するため、食糧・水・弾薬・医療品を想定した高速コンテナ・デリバリー・システムをC-130Jスーパーハーキュリーズから投下した。

この演習で、陸・海・空・海兵隊は地上と空から協力し合い、共同作戦能力を強化することができた。

4

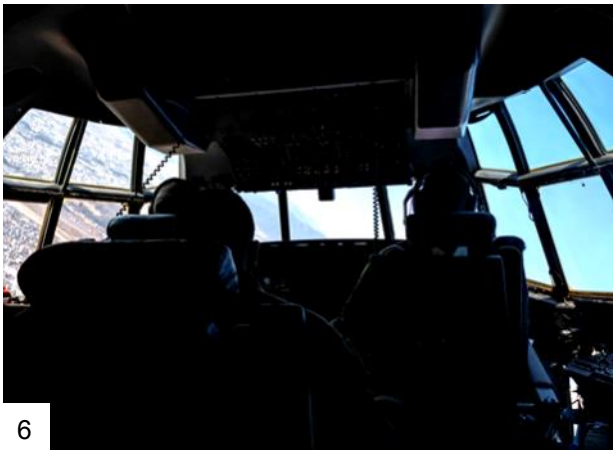
（写真5）C-130Jスーパーハーキュリーズからコンテナ・デリバリー・システムを投下する合図を待つ第36空輸中隊ロードマスターのブライアン・ゲイツ技能軍曹。



5

（写真6）1月22日、関東平野上空を飛行する第36空輸中隊のC-130Jスーパーハーキュリーズ。

第36空輸中隊は、合同演習「リトラル・ストライク」で、食糧・水・弾薬・医療品を想定した高速コンテナ・デリバリー・システムの物資投下を行った。この2日間の演習は、陸・海・空・海兵隊がそれぞれの戦術、技術、手順に慣れる機会となった。



6